

令和2年度 並木病院 臨床指標

1 施設基準

①基本診療料施設基準

療養病棟入院基本料 1（在宅復帰機能強化加算）・地域包括ケア病棟入院料 2
 診療録管理体制加算 2・療養病棟療養環境加算 1・認知症ケア加算 2
 データ提出加算 2・感染防止対策加算 2

②特掲診療料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料 I・運動器リハビリテーション料 I
 神経学的検査・薬剤管理指導料・CT 撮影及び MRI 撮影
 電子的診療情報評価料

③その他の基準・加算

入院食事療養費 1

2 患者延数（過去3年）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院患者 延数	75,433	75,622	75,251
1日平均	206.7	206.6	206.2
外来患者 延数	6,241	4,440	3,433
1日平均	21.4	15.5	11.7

3 病床利用率（過去3年）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全病棟	97.5%	97.5%	97.2%

4 医療区分3・2の割合（過去3年）

	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	区分3	区分2	区分3	区分2	区分3	区分2
全病棟	45.7%	39.6%	45.7%	39.6%	50.3%	39.8%

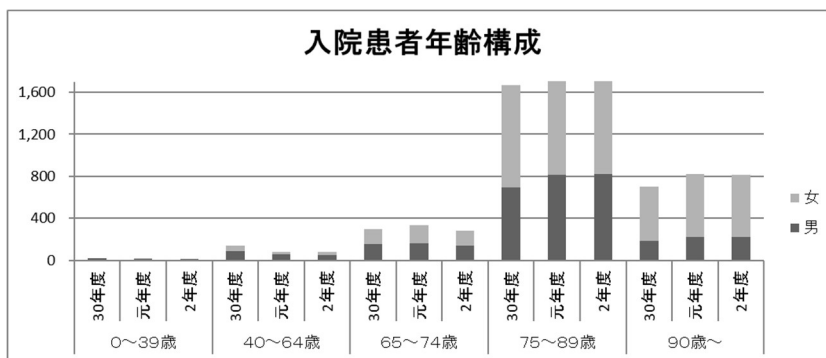
5 ADL 区分の割合

ADL区分3	ADL区分2	ADL区分1	総数
46,148	8,248	2,528	56,924
81.1%	14.5%	4.4%	100.0%

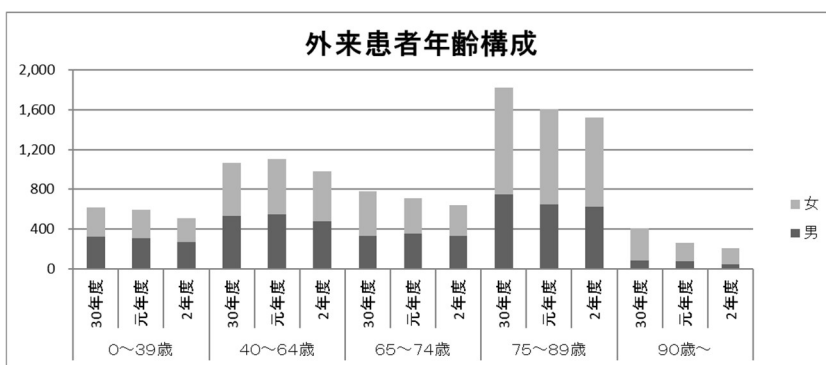
6 褥瘡（新規褥瘡発生率）

$\frac{\text{分母のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者}}{\text{調査月の新入院患者数+当月1日現在患者数}}$	0.76% （年平均）
---	--------------------

7 入院患者年齢構成



8 外来患者年齢構成



9 入院患者数と入院前状況

入院患者数 602名の入院前状況		
入院患者数	合計	比率
【合計】	602	
急性期病院	360	59.8%
急性期以外の病院	132	21.9%
介護老人保健施設	9	1.5%
自宅	90	15.0%
その他・福祉施設	11	1.8%

10 退院患者数と退院先状況

退院患者数 605名の退院先状況		
退院患者数	合計	比率
【合計】	605	
急性期病院	60	9.8%
急性期以外の病院	32	5.3%
介護老人保健施設	9	1.5%
自宅	193	31.9%
特別養護老人ホーム	39	6.4%
その他・福祉施設	81	13.4%
死亡	191	31.6%

11 退院患者疾病分類

退院605名の上位3位の疾病分類 (ICD10分類)				
1、	I分類	循環器系疾患 (心不全、脳血管疾患等)	30.6%	185名
2、	J分類	呼吸器系疾患 (肺炎、慢性呼吸不全等)	14.4%	87名
3、	R分類	異常所見で他に分類されない (老衰、多臓器不全等)	10.2%	62名
死亡191名の上位3位				
1、	J分類	呼吸器系疾患 (肺炎、慢性呼吸不全等)	32.5%	62名
2、	R分類	異常所見で他に分類されない (老衰、多臓器不全等)	28.8%	55名
3、	I分類	循環器系疾患 (心不全、脳血管疾患等)	13.6%	26名
医療機関へ転院92名の上位3位				
1、	I分類	循環器系疾患 (心不全、脳血管疾患等)	46.7%	43名
2、	G分類	神経系疾患 (パーキンソン病、多系統萎縮症等)	16.3%	15名
3、	C分類	新生物 (腫瘍)	0.7%	6名
老人保健施設9名の上位2位				
1、	I分類	循環器系疾患 (心不全、脳血管疾患等)	55.6%	5名
2、	J分類	呼吸器系 (肺炎、慢性呼吸不全等)	22.2%	2名
在宅系 (自宅193名、その他120名) 313名の上位3位				
1、	I分類	循環器系疾患 (心不全、脳血管疾患等)	35.1%	110名
2、	G分類	神経系疾患 (パーキンソン病、多系統萎縮症等)	13.7%	43名
3、	S分類	損傷・その他の外因 (腰椎圧迫骨折等)	13.4%	42名

12 在宅復帰率

(療養病棟) 68.97%	令和3年3月
(地域包括ケア病棟) 82.52%	

13 リハビリ (令和3年3月)

セラピスト配置人員数

理学療法士 12名	作業療法士 6名	言語聴覚士 11名
-----------	----------	-----------